

生徒会通信 第6号

ラグビー部！！歩みだした第一歩！！

2021年東海リターンズラウンド1が7月3日（土）に静岡県浜松市トビオ南海岸で行われ、本校ラグビー部は東海地区初の高校単独チームとして参加した。本来、全国大会につながる大会だが、コロナ感染症の影響により東海チャンピオンズリーグ進出をかけた戦いとなった。ビーチラグビー常連チームに創部2年目の城北つばさ RFC がどこまで戦えるか、「ジャイアントキリング」を目標にかかげ当日を迎えた。

メンバーは以下の通りである。

4M	17	石川 陽己	無限の体力と消えるステップでDFを抜き去る
4M	31	中瀬祐一郎	城北つばさのスカイツリー、DFの真上を制する
3M	24	長岡 侑弥	変幻自在のステップと正確なフロントパスでDFを置き去りにする
3M	11	藤本 雄志	マークされたら逃れられないポーカーフェイスDF
3M	7	加藤 駿弥	ラグビー部エース、ゲームを支配する存在感
3M	2	竹内 廉	戦術リーダー、スピードにのったATがDFを止める
3M	14	渡邊 蒼真	最後まで諦めないプレーでチームを救う
3M	26	今村 悠真	大きな体からは想像できない消えるATでDFの裏をねらう
3M	13	鬼頭チャールズ	映像分析リーダー、おにぎり消費はビーチでは無敵
3M	1	大塚 大河	気まぐれな動きが相手を翻弄する
		長野 悦典	戦術分析リーダー、写真撮影において右に出る者はいない
		田舎片 一司	歳を考えずプレーし、チーム1の負けず嫌い

奇跡的に6：45集合できてしまったのが原因か、悪天候による高速道路通行止により約4時間かけての会場入りとなった。試合開始15分前到着という厳しい条件の中、初めてのビーチラグビー予選リーグが幕をあげた。

第一試合は、大学ラグビー経験者中心の『東海スペシャル』との対戦となった。速いパス・巧みなランニングに翻弄されるが、加藤駿弥・竹内廉中心のDFで粘りを見せる。開始2分、加藤駿弥からのフロントパスが得点エリアにいる藤本雄志へ。しかし、DFのプレッシャーによりキャッチできず先制点を逃す。経験値の高い『東海スペシャル』は即座に攻め、華麗なステップにより城北DFをかわし、一瞬で失点してしまう。その後、中瀬祐一郎の懸命のDFもあったが突き放され、初戦を0-10で終える。



攻撃をしかける3M今村

第二試合は、ビーチラグビーベテランの『Knock on』。第一試合の経験を活かし、前から石川陽己がプレッシャーをかけミス誘う。ATでは、長岡侑弥の活躍もあり、惜しいシーンが続く。均衡を破ったのは『Knock on』、城北DFの一瞬のスキを突きトライを奪った。懸命のATもミスに終わり、0-6で試合を終える。

予選リーグ最終戦は、ハンドボールの戦術を駆使用する『ソーシャルハンドボール浜松』。前半、城北つばさ RFC 歴史的初トライがうまれる。監督兼選手の顧問から前に走りこんだ長岡侑弥へフロントパスが通り初得点。後半は、今村悠真・大塚大河の機転の利いたDFもあり一進一退の攻防が続いた。しかし、最後は経験値で勝る相手チームに逆転されてしまった。

パスキャッチする3M藤本



DFをかわす4M石川



果敢に攻める3M加藤



予選リーグ4位で決勝トーナメントへ進出した城北つばさ RFC は、一回戦で別リーグ1位通過の『祭』との対戦となった。開始早々、ビーチラグビー強豪チームのテンポ良いATに得点を重ねられる。一矢報いたい城北つばさ RFC は、加藤駿弥のランニングによって空いたスペースを監督兼選手の顧問が突き、得点エリアに走りこんだ加藤駿弥へフロントパスが通り反撃する。後半には、この日一番のビックプレーがうまれる。ビーチNO1のスピードを誇る相手選手の独走を、最後まで諦めない渡邊蒼真がダイビングタッチ！！会場が大いに盛り上がった。最終結果では大差が付いてしまったが、内容の濃い一戦となった。さらに、決勝トーナメント敗退後の練習試合では、中瀬祐一郎から加藤駿弥へのパス得点もあり、チームの成長を感じることができた。大会関係者の方々には、『初めての試合とは思えない、この先が楽しみなチームですね』と称賛のお言葉を頂いた。

『城北つばさラグビー部』として初めての公式戦を終えて、顧問として2つのことに気づかされた。

1つ目は、本気で取り組む姿の素晴らしさ。本校生徒がここまで本気になり、自ら作戦を練り実行する行動力には驚いた。負けず嫌いの私以上に悔しがり、がむしゃらに走り回る姿に、負けはしたが感動した。

2つ目は、大会を通して選手サポートをしていた鬼頭チャールズの食欲である。なんとおにぎりを12個も完食していた。今後は無限の胃袋を考えて、準備するおにぎり量を考えなければならぬ。

ダイビングタッチ3M渡邊蒼真



卒業まで半年、青春だな・・・

今回、大会参加するにあたって多くの方々にご協力・ご指導をして頂きありがとうございました。

部員・顧問一同感謝の気持ちを忘れず精進し、次戦こそは悲願の初勝利、そして全国大会出場を成し遂げてみせます。

